

入院診療計画書

病名：陣痛発来

・前期破水

主治医：産婦人科 3東病棟

担当看護師など：

患者または親権者など：続柄（ ）

分娩入院から分娩後2時間までの生活

日時	分娩第1期	分娩第2期	分娩第3期	分娩第4期
	（陣痛開始から子宮口全開大まで）	（子宮口全開大から胎児娩出まで）	（胎児娩出から胎盤娩出まで）	（胎盤娩出から2時間後まで）
治療・薬剤	破水した場合抗生剤を使用することもあります。（内服、点滴など）			
処置	内診後、お腹の張りといの心音を確認する器械をつけます。	分娩後の出血の可能性を考えて点滴を入れます。	出産後に点滴の側管から子宮収縮剤を入れます。	子宮収縮・産後の出血量に問題なければ点滴を抜きます。
検査	血液検査,尿検査があります。		分娩時の傷や出血状況の確認のための診察があります	
安静度	自由です、楽な姿勢をとって陣痛を乗り切りましょう。	陣痛室から分娩室に移ります。		車椅子か歩行にて部屋へ移動します。
食事	常食です（妊娠中の症状により必要時、治療食となります）。陣痛室では栄養補給しやすいもの（サンドイッチ、ゼリーやプリンなど）を持参して召し上がっていただいてもかまいません。特別な栄養管理の必要（無・有）			
排泄	陣痛室のトイレをご利用ください。ただし、便がしたい時は必ず、スタッフにお知らせください。			管で尿を取ります。
清潔	入浴、シャワーできます。ただし破水時はシャワーにお入りいただけません。可能かどうかはご確認ください。			
看護	定期的に伺い、陣痛の状態と胎児の心音を確認し、安全・安楽に分娩が出来るようお手伝いさせていただきます。母子の異常の早期発見に努めます。別紙にて看護計画を説明させていただきます。質問・要望がある際は、担当までお願いします。			
その他	陣痛が消失した場合、退院となる場合があります。			

入院診療計画書

病名： 経 膣 分 娩

主治医：

産婦人科 3東病棟

担当助産師・看護師：

患者または親権者など：

続柄（ ）

経膣分娩後の入院生活

経 過	分娩当日	分娩後1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
治療・薬剤 (点滴、内服等)	腰痛・腹痛・便秘や痔の痛みなどがあれば御相談ください。					午前中 退院です
処 置	分娩後2・4・8時間で創部消毒・ ナプキンの交換を行います。	1日1回子宮収縮と創部 を 確認します。	体重をはかって下さい。		退院診察・抜糸があります。 体重をはかって下さい。	
検 査					血液検査があります。	
安 静 度	分娩後2時間は分娩室です ごします。以降は、ゆっくり 休んで体調を整えてくださ い。	特に制限はありません。病院内は自由です。 (授乳・指導などで忙しくなるので、ゆっくりと休んでおきましょう。)				
食 事	産褥食になります(妊娠中の症状によって治療食となることがあります)。 退院までに1回お祝い膳をお出しします(曜日(火か金)が決まっています)。特別な栄養管理の必要性(無・有)					
清 潔	清拭となります。	シャワー浴できます。				
排 泄	分娩2時間後は管で尿をとります。その後は子宮の収縮をよくするためにもこまめにトイレにいきましょう。					
赤ちゃんのこと	出生後、清拭、点眼と各計測 を行います。 分娩室で2時間後まで一緒に 過ごします。	ビタシK2ソップを飲みます。 体を拭きます。	入院中1回小児科医師の診察があります。 		ビタシK2ソップを飲みます。 黄疸・ガスリーの血液検査をします。 ご自分で赤ちゃんをお風呂に入れてもらいま す。	
授乳	出産8時間以降の授乳時間か ら授乳を始めます。	初めての授乳の際、授乳の方法や授乳の間隔等について説明します。 お部屋で、赤ちゃんの欲しがるサインに合わせ授乳しましょう。 オムツの替え方・抱き方・お乳のあげ方を練習しましょう。				
患者さん及び ご家族への説明	退院までの流れを説明します。 母子手帳・出生届・臍をお渡し します。	授乳の方法、母子同室について説明します。	母子手帳・ガシリ-検査の申し込 み用紙を提出して頂きます。		退院後の生活・育児につい て説明します。(調乳指導 も行います) 1ヶ月検診 日をお伝えします。 沐浴の説明をします。	母子手帳と診察券 をお返しします。
看 護	子宮の収縮状態をみながら、痛みの調節をしていきます。 退院後の生活上の注意点や育児についてのアドバイスをを行い、不安なく退院できるよう支援いたします。別紙にて入院時に看護計画を説明させていただきます。 質問・要望がある際は、担当までお願いします。					

入院診療計画書

R5年6月改訂

病名：

主治医：

産婦人科 3東病棟

担当助産師・看護師：

患者または親権者など：

続柄（ ）

※表裏内容にご理解いただきましたら、署名をお願いします。

No1

帝王切開後の入院生活（入院～術後2日目まで）

日時 (手術、退院等)	入院日	術前日	手術日	術後1日目	術後2日目
治療・薬剤 (点滴、内服等)		翌日9時から手術の場合は 点滴の針を入れさせていただきます。	手術室出棟前に点滴をつなぎます。 術後より収縮剤を投与します。 医師の指示で抗凝固剤の皮下注	点滴の投与が終了するまで収縮剤を投与します。	
処置	児の心音と腹部の張りの状態を見る器械(NST)を装着します。	NSTを行います。	6時に検温とNSTを行います。 8時頃に点滴を入れます。	腰からの麻酔の管を抜きます。 食事の摂取を確認してから点滴も抜きます。	体重をはかって下さい。
検査				朝6時頃に血液検査があります	
安静度	特に制限はありません。 病院内は自由です。		帰宅後よりベット上で安静です。	病室内を歩いて下さい。	病棟内を歩いて下さい。 授乳がはじまります。
赤ちゃんのこと	(赤ちゃんとの関わりは、生まれた後の状況によって変わります。)		赤ちゃんはNICUに入院します。 面会のご主人のみです。赤ちゃんの状態説明があります。	赤ちゃんの面会に行けます。	赤ちゃんの状況に合わせて授乳が開始となります。
食事	常食です。特別な栄養管理の必要性(有)	夜9時までは制限ありません。	絶飲食です。 (お茶や水分も取れません)	水分から徐々にとってもらいます。 昼5分粥・夕常食1となります。	朝から産褥食となります。
清潔	入浴できます。		手術用の寝衣に着替えます。 血栓予防の靴下を履きます。	体を拭いた後、ご本人の寝衣に着替えます。	シャワーへ入ってください。
排泄	トイレ			おしっこの管を抜きおトイレに行っていただきます。	トイレ(便秘が気になるようなら連絡下さい。)
患者さん及びご家族への説明	病棟内の案内と手術の流れについて説明をします。手術室の看護師と麻酔科医師より説明があります	手術に必要な物を確認します。 手術承諾書の確認をします。 お産バッグを渡します。	お臍とお臍の箱をお渡しします。	母子手帳・出生届を渡します。 外陰部消毒方法を説明します。	乳房の管理について説明します。 乳房の状態により母乳を搾乳することもあります。
看護	子宮の収縮状態や傷の状態を見ていながら、痛みの調節に努めていきます。退院に向けて生活上の注意点や育児に関しての説明を行い、少しでも退院後の育児の助けになるよう努めます。入院時、別紙にて看護計画を説明させていただきます、質問・要望がある際は、担当までお願いします。				

入院診療計画書

病名：

主治医：

産婦人科 3東病棟

担当助産師・看護師：

患者または親権者など：

続柄（ ）

No2

帝王切開後の入院生活（3日目～退院まで）

日時 (手術、退院等)	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目 退院となります。
治療・薬剤 (点滴、内服等)					
処置		体重をはかって下さい。		退院診察をします。	午前中 退院です。
検査		血液検査があります。			
安静度	特に制限はありません。病院内は自由です。				
赤ちゃんのこと				可能であれば、ご自分で赤ちゃんをお風呂に入れていただきます。	
食事 (栄養指導含む)	産褥食です。退院までに1回お祝い膳をお出しします（曜日（火か金）が決まっています）。				
清潔	シャワーが出来ます。				
排泄	便秘が続くようなら教えて下さい。				
患者さん及び ご家族への説明	母子手帳・ガスリー検査申し込み用紙を提出して頂きます。		退院指導を行います。 再診日をお知らせします。 調乳指導も実施します。		母子手帳・診察券を返却します。
看護	子宮の収縮状態や傷の状態を見ていきながら、痛みの調節に努めていきます。退院に向けて生活上の注意点や育児に関する説明を行い、少しでも退院後の育児の助けになるよう対応に努めます。入院時、別紙にて看護計画を説明させていただきます、質問・要望がある際は、担当までお願いします。				